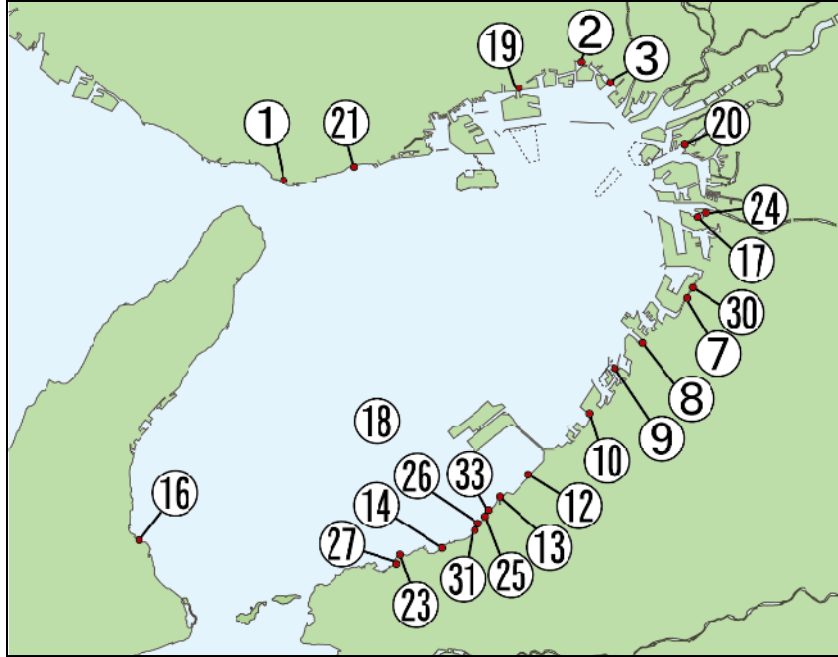


# 令和元年度 第12回大阪湾生き物一斉調査について

## 1. 調査概要

令和元年度は、6月1日を中心に、大阪湾沿岸域の23地点と大阪湾内（スナメリ調査）において、31団体、1,090名が参加して、第12回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。



【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア[6/1]
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/8]
19 住吉川河口	神戸市立須磨海浜水族園、NPO法人 豊かな森川海を育てる会[6/16]
2 香櫛園浜	西宮市貝類館[6/17]
3 甲子園浜	NPO法人 海浜の自然環境を守る会[6/2]
16 洲本市大浜海岸	須磨里海の会 [7/6]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
20 天保山	海遊館[5/25]
17 堺浜友海ビーチ (堺2区生物共生型護岸)	(公社)大阪自然環境保全協会 (堺浜自然観察会)[6/16]
24 堺浜自然再生ふれあいビーチ	(公社)大阪自然環境保全協会 (堺浜自然観察会)[6/16]
7 高師浜	青石ジュニア自然大学 浜寺公園自然の会[5/25]
30 浜寺水路	浜寺公園自然の会[5/18]
8 大津川河口(左岸)	きしわだ自然資料館[6/1]
9 阪南2区造成干潟	きしわだ自然資料館[6/2]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
10 近木川河口	貝塚市立自然遊学館[5/19]
12 榎井川河口・岡田浦海岸	男里川干潟を守る会、大阪府立泉島高等学校 フィールドワーク部[6/1]
33 尾崎漁港西浜	下荘小学校、関西大学北陽高等学校、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/19]
13 男里川河口干潟	男里川干潟を守る会、きしわだ自然資料館[7/13]
25 尾崎海岸	(公社)大阪自然環境保全協会(海のふしぎ観察会)[6/2] 西鳥取小学校、関西大学北陽高等学校、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/18]
26 波有手海岸	NPO法人 環境教育技術振興会、フロロジス[5/17]
31 西鳥取海岸	セブーンイレブン記念財団、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/1] 舞小学校、関西大学北陽高等学校、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/6]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会、NPO法人 釣り文化協会[6/2]
23 長松海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (自然環境市民大学、空の会)[6/19]
18 大阪湾[けり調査]	大阪ECO動物海洋専門学校、海遊館[5/15、5/25]
27 深日漁港干潟	岬町立岬中学校、一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア事務局[6/1]

図1 令和元年度の調査地点一覧

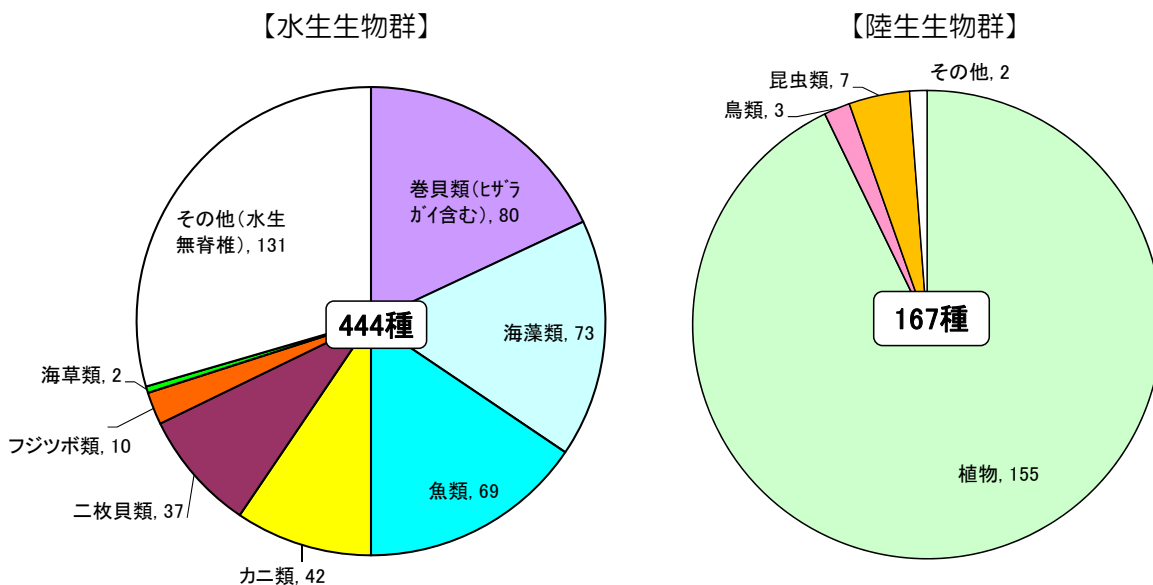
## 2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を図2、表1に示しました。

種名まで判別した種類は611種（うち、調査シート掲載種43種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が75種、動物は貝類が117種（巻き貝80種、二枚貝37種）、魚類が69種、カニ類が42種等でした。また、陸生生物群では、陸上植物が155種、鳥類が3種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2018年）に掲載されている種に該当するものを付表1に示しました。全体の貴重種としては83種類（属含む、陸生種除く）が該当しました。このうち、海藻・草類はスジアオノリ、ホソアヤギヌ、コアマモの3種、動物では、貝類がイボウミニナ、ウミニナ、タケノコカワニナ、フトヘナタリ、ヤマトシジミ、ユウシオガイ等の35種、多毛類がタマシキゴカイ、ムギワラムシ等の5種、カニ類はスナガニ、ハクセンシオマネキ、モクズガニ等の18種、魚類はアユ、ニホンウナギ等の3種、その他はスジホシムシモドキ、ハスノハカシパン、ヒガシナメクジウオ等の14種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊動物を含む。

図2 令和元年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(令和元年度)

分類群		No.	和名	分類群	No.	和名
海藻類	緑藻類	1	アオサ属(アオサ型)	海藻類	86	アイミドリ
		2	アオサ属(アオリ型)	海藻類	1	アマモ
		3	アナアオサ	海藻類	2	コアマモ
		4	ウスバアオリ	植物	1	アオツツラフジ
		5	カイゴロモ		2	アカメガシワ
		6	シオグサ科		3	アキニレ
		7	シワランソウモドキ		4	アキノゲシ
		8	スジアオリ		5	アケビ
		9	ヒラアオリ		6	アメリカセンダングサ
		10	ボウアオリ		7	アメリカネナンカズラ
		11	ホソジュズモ		8	アメリカワロ
		12	ボタンアオサ		9	アリタソウ
		13	ミル		10	アレチウリ
	褐藻類	14	アカモク		11	アレチギシギシ
		15	アミジグサ		12	アレチマツヨイグサ
		16	イロロ		13	アロエ属
		17	ウミウチワ		14	イタドリ
		18	ウミトラノオ		15	イヌタデ属
		19	カジメ		16	イヌホオズキ
		20	コモンクサ		17	イヌムギ
		21	サナダグサ		18	ウスベニツメクサ
		22	シオミドリ科		19	ウチワサボテン
		23	シダモク		20	ウバメガシ
		24	セイヨウハバノリ		21	エノキ
		25	タマハハキモク		22	オオアレチノギク
		26	ネバリモ		23	オオオナモミ
		27	ヒジキ		24	オカヒジキ
		28	フクロノリ		25	オッタチカタバミ
		29	フトモズク		26	オニウシノケグサ
		30	ヘラヤハズ		27	オニグルミ
		31	ホンダワラ科		28	オランダミミナグサ
		32	ヤハズグサ		29	カズノコグサ
		33	ヨレモクモドキ		30	カスマグサ
		34	ワカメ		31	カタバミ
		紅藻類	35		アマノリ属	32
	36		イソダンツウ		33	カミツレモドキ
	37		イソハギ		34	カモジグサ
	38		イバラノリ		35	カラクサナズナ
	39		イワノカワ科		36	カラスノエンドウ
	40		エチゴカニノテ		37	カラスノチャヒキ
	41		エナシダジア		38	カラスムギ
	42		オオオゴノリ		39	カワラヨモギ
	43		オオバツノマタ		40	ギョウギシバ
	44		オキツノリ		41	キンエノコロ
	45		オゴノリ		42	クコ
	46		オゴノリ属		43	クズ
	47		オバクサ		44	クスダマツメクサ
	48		カイノリ		45	クスノキ
	49		カギウスバノリ		46	クロマツ
	50		カバノリ		47	コウボウシバ
	51		キブリイトグサ		48	コウボウムギ
	52		キョウノヒモ		49	コメババオトギリ
	53		クロソソ		50	コニシキソウ
	54		コザネモ		51	コバンソウ
	55		コスジフシツナギ		52	コマツヨイグサ
	56		コブソソ		53	コメツブウマゴヤシ
	57		コメノリ		54	コメツブツメクサ
	58		シキンノリ		55	コモチナデシコ
	59		シラモ		56	サナエタデ
	60		スギノリ		57	シナダレスズメガヤ
	61		ススカケベニ		58	シバ
	62		タオヤギソウ		59	シャリンバイ
	63		ツノマタ		60	シュロ
	64		ツノマタ属		61	シロザ
	65		ツノムカデ		62	シロバナマンテマ
	66		ツルシラモ		63	スイバ
	67		トサカマツ		64	スズメノカタビラ
	68		ハイウスバノリ属		65	スズメノチャヒキ
	69		ハイテングサ		66	スズメノチャヒキ属
	70		ヒメテングサ		67	スズメノナギナタ
	71		ビリヒバ		68	スベリヒユ
	72		フクロフノリ		69	セイタカアワダチソウ
	73		フシツナギ		70	セイタカハハコグサ
	74		フダラク		71	セイハンモロコシ
	75		ベニスナゴ		72	セイヨウカラシナ
	76		ホソアヤギヌ		73	セイヨウタンポポ
	77		マクサ		74	センダン
	78		マツノリ		75	タイトゴメ
	79		ミゾオゴノリ		76	タガラシ
	80		ムカデノリ		77	タチチコグサ
	81		ムカデノリ属		78	タチバナモドキ
	82		モサズキ属		79	チガヤ
	83		ユカリ		80	チチコグサ
	84		ワツナギソウ		81	ツタ
	85		無節サンゴモ類		82	ツボミオオバコ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(令和元年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名			
植物(続き)	83	ツメクサ	貝類 (続き)	10	アマクサアメフラシ			
	84	ツルナ		11	アメフラシ			
	85	テイカカズラ		12	アラムシロガイ			
	86	テリハノイバラ		13	アラレタマキビガイ			
	87	トゲヂシャ		14	アリモウミウシ			
	88	トベラ		15	イシダタミガイ			
	89	ナガバギシギシ		16	インマキガイ			
	90	ナガミヒナゲシ		17	イズミドリガイ			
	91	ナギナタガヤ		18	イソニナ			
	92	ナヨクサフジ		19	イナザワハベガイ			
	93	ナルトサワギク		20	イボウミニナ			
	94	ナンキンハゼ		21	イボニシ			
	95	ニワウルシ		22	ウスキセウタ			
	96	ヌカススキ		23	ウスコシミガイ			
	97	ネコハギ		24	ウノアンガイ			
	98	ネズミホソムギ		25	ウミナメクジ			
	99	ネズミムギ		26	ウミニナ			
	100	ネムノキ		27	ウミフクロウ			
	101	ノイバラ		28	エビスガイ			
	102	ノゲシ		29	オオヘビガイ			
	103	ノジシャ		30	オカダウミウシ			
	104	ノブドウ		31	オトメガサ			
	105	ノボロギク		32	カキウラクチキレモドキ			
	106	ノラニンジン		33	カスリアオガイ			
	107	ハハコグサ		34	カラマツガイ			
	108	ハマアオスゲ		35	カワザンショウガイ			
	109	ハマアザミ		36	カワザンショウガイ類			
	110	ハマウド		37	キクノハナガイ			
	111	ハマエンドウ		38	キセウタガイ属			
	112	ハマオモト		39	クチケレガイ			
	113	ハマクマツヅラ		40	クボガイ			
	114	ハマゴウ		41	クリイロカワザンショウ属			
	115	ハマサジ		42	クリフレイシガイ			
	116	ハマダイコン		43	クロコソデウミウシ			
	117	ハマツメクサ		44	クロシタナシウミウシ			
	118	ハマヒルガオ		45	クロツケガイ			
	119	ハマボウ		46	クロヘリアメフラシ			
	120	ハマボウフウ		47	クロミドリガイ			
	121	ハマボツス		48	コウダカアオガイ			
	122	ハママツナ		49	コガモガイ属			
	123	ヒメコバンソウ		50	コクラクミドリガイ属			
	124	ヒメジョオン		51	コシダカガンガラ			
	125	ヒメヒレアザミ		52	コネコウミウシ			
	126	ヒメムカシヨモギ		53	コビトウラウスガイ			
	127	ビラカンサ		54	コベルトカニモリ			
	128	ヒルザキツキミソウ		55	コメツブガイ			
	129	バナナ		56	コモレビコガモガイ			
	130	フチベニベンケイ		57	サザエ			
	131	フヨウ		58	サツマクリイロカワザンショウ			
	132	ヘラオオバコ		59	シボリガイ			
	133	ホウキギク		60	シマメノウフネガイ			
	134	ホコガタアカザ		61	スガイ			
	135	ホソバアキノノゲシ		62	タケノコカワニナ			
	136	ホソバハマアカザ		63	タマキビガイ			
	137	ホソムギ		64	タマツボ			
	138	ホトケノザ		65	チグサガイ			
	139	ホルトソウ		66	ツメタガイ			
	140	マサキ		67	トコブシ			
	141	マモノシリヌグイ		68	ネジガイ			
	142	マメグンバイナズナ		69	ヒメコザラガイ			
	143	マンテマ		70	フジエラミノウミウシ			
	144	ミチバナデシコ		71	ブドウガイ			
	145	ミチヤナギ		72	フトヘナタリ			
	146	ミノボロモドキ		73	フレリトケアメフラシ			
	147	ムクノキ		74	ベッコウガサガイ			
	148	メドハギ		75	ホソウミニナ			
	149	メマツヨイグサ		76	ホソソシアオガイ			
	150	メリケントキンソウ		77	マダラウミウシ			
	151	メリケンムグラ		78	マツバガイ			
	152	モモ		79	マルウスラタマキビガイ			
	153	ヤブヅラミ		80	ミガキブドウガイ属			
	154	ヨウシュヤマゴボウ		81	ミスジヨイトカケギリ			
	155	ヨシ		82	ミドリアマモウミウシ科			
	156	ヨツバハコベ		83	ミヤコドリガイ			
	157	ヨモギ		84	ムギガイ			
	158	ランタナ		85	ヤツミノウミウシ			
	貝類	ヒザラガイ類		1	ウスヒザラガイ	二枚貝類	90	アオカリガネエガイ
				2	ウスヒザラガイ科		91	アサリ
				3	ケハダヒザラガイ		92	イガイ
				4	ヒザラガイ		93	イタボガキ科
				5	ヒメケハダヒザラガイ		94	イタボガキ属
				6	ヤスリヒザラガイ			
		巻き貝類		7	アオガイ			
				8	アオガイ属			
				9	アカニシ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(令和元年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
貝類 (続き)	二枚貝類(続き)	95 イワガキ	ヨコエビ・ワレカラ類(続き)	13 ヒメハマトビムシ種群	
		96 ウスカラシオツガイ		14 フサゲモクス	
		97 ウズザクラガイ		15 フトメリタヨコエビ	
		98 ウネナシトマヤガイ		16 ボシエットトゲオヨコエビ	
		99 オハヴログキ属		17 ムシヤカマキリヨコエビ	
		100 カガミガイ		18 モクスヨコエビ	
		101 カリガネエガイ		19 モズミヨコエビ	
		102 キクザルガイ		20 ヨコエビ類	
		103 キヌマトイガイ		21 ワレカラ類	
		104 クイチガイサルボウ		フジツボ類	1 アカフジツボ
		105 クチバガイ			2 アメリカフジツボ
		106 ケガキ			3 イワフジツボ
		107 コウロエンカワヒバリガイ			4 カメノテ
		108 サクラガイ			5 クロフジツボ
		109 サルボウガイ			6 サンカクフジツボ
		110 シズクガイ			7 シロスジフジツボ
		111 シラトリモドキ			8 タテジマフジツボ
		112 セミアサリ			9 ドロフジツボ
		113 ソトオリガイ			10 ヨーロッパフジツボ
		114 トマヤガイ		ヤドカリ類	1 イクビホンヤドカリ
		115 ナミマガシワガイ			2 イザナミツノヤドカリ
		116 ニッポンマアゲマキガイ	3 イソカニダマシ		
		117 バカガイ	4 イソカニダマシ属		
		118 ヒバリガイ	5 ケアシホンヤドカリ		
		119 ヒメアサリ	6 ケバカヒメヨコバサミ		
		120 ヒメカノコアサリ	7 コバヨコバサミ		
		121 ヒメシラトリガイ	8 ツノヤドカリ属		
		122 ホトギスガイ	9 テナガツノヤドカリ		
		123 ホンビノスガイ	10 ヒラトゲガニ		
		124 マガキ	11 ホンヤドカリ		
		125 マテガイ	12 ヤドリカニダマシ		
		126 ミミエガイ	13 ユビナガホンヤドカリ		
		127 ムラサキイガイ	14 ヨモギホンヤドカリ		
		128 ヤマトシジミ	カニ類	1 アカテガニ	
		129 ユウシオガイ		2 アンハラガニ	
		多毛類		1 Harmothoe属	3 イシガニ
				2 Hydroides属	4 イソガニ
				3 Schistomeringos属	5 イソクズガニ
				4 Spirobranchus属	6 イツカククモガニ
				5 アシナゴコカイ	7 イボイチウウガニ
				6 ウズマキゴカイ科	8 オウギガニ
				7 ウミケムシ	9 カクベンケイガニ
				8 ウロコサシバ	10 ガザミ
				9 ウロコムシ科	11 カネコブシ
				10 エゾカサネカンザシゴカイ	12 キンセンガニ
				11 オイワケゴカイ	13 クモガニ科
				12 オウギゴカイ	14 クロベンケイガニ
				13 オニスビオ属	15 ケフサイソガニ
				14 カサネカンザシゴカイ	16 コイチウウガニ
				15 カワゴカイ属	17 コメツキガニ
				16 カンザシゴカイ科	18 シオマネキ
				17 ケヤリムシ科	19 ジャノメガザミ
				18 ゴカイ科	20 ショウジンガニ
				19 コケゴカイ	21 シワオウギガニ
				20 サンハチウロコムシ	22 スナガニ
				21 シロガネゴカイ科	23 スナガニ属
				22 スナイソゴカイ	24 スネナガイソガニ
				23 タマシキゴカイ	25 タイワンガザミ
				24 タマシキゴカイ科	26 タカノケフサイソガニ
				25 チロリ科	27 チチュウカイミドリガニ
				26 オニスビオ属	28 トガリオウギガニ
				27 ヒナサキチロリ	29 ハクセンシオマネキ
				28 フサウスウロコムシ	30 ハマガニ
				29 フサゴカイ科	31 ヒメアシハラガニ
				30 マダラウロコムシ	32 ヒメケバカガニ
				31 ミズヒキゴカイ	33 ヒメベンケイガニ
				32 ミズヒキゴカイ科	34 ヒライソガニ
				33 ミロクウロコムシ	35 ヒライソガニ属(ケアシヒライソガニ)
				34 ムギワラムシ	36 ヒラコブシ
				35 ムツエダカンザシゴカイ	37 フジテガニ
				36 ヤスリウロコムシ	38 フタバカクガニ
				37 ヤッコカンザシ	39 マメコブシガニ
		38 多毛類		40 モガニ属	
		ヨコエビ・ワレカラ類		1 アリアケドロクダムシ	41 モクスガニ
				2 ウェンドロクダムシ	42 ヤマトオサガニ
				3 ウミモワレカラ	43 ヤワラガニ科
				4 オオワレカラ	44 ユビアカベンケイガニ
				5 クビナガワレカラ	45 ヨツハマガニ
				6 タテソコエビ属	46 ヨツハマドキ
			7 トゲワレカラ	魚類	1 アイナメ
			8 トンガリドロクダムシ		2 アカエイ
			9 ニホンドロソコエビ		3 アゴハゼ
			10 ヒゲツノメリタヨコエビ		4 アゴハゼ属
			11 ヒゲナガヨコエビ科		5 アサヒアナハゼ
			12 ヒゲナガヨコエビ属		6 アナハゼ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(令和元年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名	
魚類(続き)	7	アナハゼ属	昆虫類(続き)	3	オオスナゴミムシダマシ	
	8	アベハゼ		4	クルマバッタモドキ	
	9	アミメハギ		5	ナミテントウ	
	10	アユ		6	ハマベハサミムシ	
	11	イシガレイ		7	ヒメギス	
	12	イシダイ		1	カルガモ	
	13	イダテンカジカ		2	カワウ	
	14	イダテンギンボ	3	コアジサシ		
	15	ウキゴリ属	鳥類	1	イソカイメン科	
	16	ウマヅラハギ		2	ウスカワナシカイメン	
	17	ウミタナゴ属		3	カタカイメン	
	18	ウルメイワシ		4	クロイソカイメン	
	19	オクヨウジ		5	コエダカイメン	
	20	カサゴ		6	ダイダイイソカイメン	
	21	カタクチイワシ		7	ナミイソカイメン	
	22	カマス属		8	普通海綿綱	
	23	カレイ科	クラゲ類	9	アカクラゲ	
	24	カワハギ		10	エダアシクラゲ	
	25	ガンテンイシヨウジ		11	カギノテクラゲ	
	26	キチヌ	ヒドロ虫類	12	ミズクラゲ	
	27	キヌカジカ		13	オオタマウミヒドラ	
	28	キュウセン		14	シロガヤ	
	29	クサフグ	イソギンチャク類	15	ヒドロ虫綱	
	30	クジメ		16	イソワケイソギンチャク	
	31	クロダイ		17	イソギンチャク類	
	32	クロメバル		18	ウメボシイソギンチャク科	
	33	コモンフグ		19	タテジマイソギンチャク	
	34	ゴンズイ		20	ヒメイソギンチャク	
	35	ササウシノシタ		21	ベリルイソギンチャク	
	36	サザナミフグ		22	ヨロイイソギンチャク	
	37	サバフグ属		23	ヨロイイソギンチャク属	
	38	サヨリ属		有櫛類	24	カブトクラゲ
	39	サラサカジカ	ヒラムシ類		25	オオツノヒラムシ
	40	サンゴタツ		26	ミノヒラムシ	
	41	シマイサキ	ヒモムシ類	27	モヨマルヒラムシ	
	42	シロサバフグ		28	ヒラムシ類	
	43	シロメバル	腕足類	29	クリゲヒモムシ	
	44	スズキ		30	ヒモムシ類	
	45	スズメダイ	コケムシ類	31	シャミセンガイ科	
	46	スナビクニン		32	Bugulina stolonifera	
	47	ダイナンギンボ	頭足類	33	エリアナコケムシ	
	48	ダイナンギンボ属		34	コブコケムシ科	
	49	タイ科		35	サラコケムシ科	
	50	タケギンボ		36	チゴケムシ	
	51	タケノコメバル		37	ハナザラコケムシ	
	52	タツノオトシゴ属		38	フサコケムシ	
	53	チヂブ		39	ホソフサコケムシ	
	54	ツマグロスジハゼ(A)		40	ホンダワラコケムシ	
	55	トウゴロウイワシ		ホシムシ類	41	アオリイカ
	56	トサカギンボ			42	ヒメイカ
	57	トビヌメリ	43		マダコ	
	58	トラフグ属	ミミズ類	44	スジホシムシ	
	59	ドロメ		45	スジホシムシモドキ	
	60	ナベカ	クモ類	46	イソミズ	
	61	ナルトビエイ		47	イソハエトリ	
	62	ニジギンボ	ウミグモ類	48	シマウミグモ	
	63	ニホンウナギ		49	アミ科	
	64	ネスミゴチ	アミ類	50	ウオジラミ属	
	65	ハオコゼ		端脚類 等脚類	51	イソコツブムシ属
	66	ハゼ科	52		イソヘラムシ	
	67	ヒガンフグ	53		コツブムシ科	
	68	ヒゲハゼ	54		シリケンウミセミ属	
	69	ヒメハゼ	55		ニホンコツブムシ	
	70	ヒラム	56		フナムシ	
	71	フグ科	57		ヘラムシ属	
	72	ヘダイ	58		ホソヘラムシ属	
	73	ホシササノハベラ	59		ワラジヘラムシ属	
	74	ボラ	タナイス類		60	キスイタナイス
	75	ボラ科		エビ類	61	アキアミ
	76	マアジ	62		アシナガスジエビ	
	77	マコガレイ	63		イソテッポウエビ種群	
	78	マゴチ	64		イソモエビ	
	79	マハゼ	65		エビジャコ属	
	80	ミミズハゼ属	66		クルマエビ	
	81	ミミズハゼ属(イソ型)	67		クルマエビ科	
	82	ムスジガジ	68		コシマガリモエビ	
	83	ムラソイ	69		スジエビモドキ	
	84	メジナ	70		スジエビ属	
	85	メジナ属	71		ツノモエビ	
	86	メバル属	72		テッポウエビ	
	87	ヤマトカマス	73		テッポウエビ属	
	88	ヨウジウオ	74		ホソモエビ	
	両生類	1	ヌマガエル		75	ムラサキエビ属
	昆虫類	1	ウミベアカバハネカクシ		76	ユビナガスジエビ
		2	オオズアリ		77	アナジャコ属

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1 (5) 出現種一覧 (令和元年度)

分類群	No.	和名
その他 (続き)	アナジャコ類	78 ニホンスナモグリ
	(続き)	79 ハサミシヤコエビ
		80 ハルマンズナモグリ
	ヒトデ類	81 イトマキヒトデ
		82 イトマキヒトデ属
		83 キヒトデ(マヒトデ)
		84 テビイトマキヒトデ
		85 ヌノメイトマキヒトデ
		86 ヒメヒトデ属
		87 ヤツデヒトデ
	クモヒトデ類	88 ウデナガメガネクモヒトデ
		89 トウメクモヒトデ
		90 トゲクモヒトデ属
		91 ナガトゲクモヒトデ
		92 ニホンクモヒトデ
	ウニ類	93 アカウニ
		94 サンショウウニ
		95 ハスノハカシパン
	96 バフンウニ	
	97 ムラサキウニ	
ナマコ類	98 イカリナマコ科	
	99 イシコ	
	100 ヒモイカリナマコ	
	101 フトゲイカリナマコ	
	102 マナマコ	
ホヤ類	103 イタボヤ科	
	104 ウスボヤ科	
	105 エボヤ	
	106 カタクウレイボヤ	
	107 コバンイタボヤ	
	108 シロウスボヤ	
	109 シロボヤ	
	110 シロボヤモドキ	
	111 スジキレボヤ	
	112 フタスジボヤ	
	113 ホヤ綱	
	114 マクワボヤ	
	115 マンジュウボヤ	
	116 ミハエルボヤ	
	117 ユウレイボヤ	
ナメクジウオ類	118 ヒガシナメクジウオ	

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

### 3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 令和元年度結果

調査シート掲載種の調査箇所別出現状況を表2に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 調査シート掲載種の調査箇所別出現状況（令和元年度）

分類群	No.	和名/地点	地点No.																合計								
			1	21	19	2	3	20	17	24	30	7	8	9	10	12	13	33		25	26	31	14	23	27	16	
			アジュール舞子	須磨海岸	住吉川河口	香榎園浜	甲子園浜	天保山	堺浜友海ビーチ	堺浜自然再生ふれあいビーチ	浜寺水路	高師浜	大津川河口	阪南二区造成干潟	近木川河口	櫻井川河口・岡田浦海岸	男里川河口干潟	尾崎漁港西浜	尾崎海岸（新町海岸）	波有手海岸（西鳥取漁港西側）	西鳥取海岸（海響前の浜・東）	せんなん里海公園	長松海岸	深日漁港干潟	大浜海岸		
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ					●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14
		2 スジアオリ				●			●								●								●		
	紅藻類	3 オゴノリ														●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
植物		1 オカヒジキ	●	●			●				●							●	●	●	●	●					9
		2 コウボウムギ	●	●																							2
		3 ハマウド														●	●							●	●		8
		4 ハマゴウ	●	●			●	●								●	●							●	●		7
		5 ハマダイコン	●	●			●	●								●	●							●	●		11
		6 ハマボウフウ	●	●			●	●								●	●							●	●		7
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキビガイ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
		2 イシマキガイ								●						●	●							●	●		8
		3 イボニシ	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
		4 タマキビガイ	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15
		5 フレイトゲアメフラシ		●																							1
	二枚貝類	6 アサリ		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●			●	15
		7 ウスカラシオツガイ							●																		1
		8 ウネナントマヤガイ				●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
		9 クチバガイ			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
		10 ケガキ	●	●																						●	10
		11 コウエンカワヒバリガイ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
		12 マガキ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
		13 ムラサキガイ	●	●					●																		8
フジツボ類		1 アカフジツボ	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	
		2 アメリカフジツボ			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
		3 クロフジツボ	●	●															●				●	●	●	7	
		4 シロスジフジツボ	●		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	
		5 タテジマフジツボ			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	
		6 ドロフジツボ			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4	
		7 ヨーロッパフジツボ			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
ヤドカリ類		1 ホンヤドカリ	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
		2 ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20	
カニ類		1 アカテガニ																	●							1	
		2 アンハラガニ																●								1	
		3 イソガニ	●	●	●		●						●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	13	
		4 オウギガニ	●																	●				●		3	
		5 クロベンケイガニ																								1	
		6 ケフサイソガニ			●	●			●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	
		7 スナガニ				●	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
		8 タカノケフサイソガニ			●	●	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	
		9 チチュウカイミドリガニ			●	●	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
		10 ハクセンシオマネキ				●	●											●	●	●	●	●	●	●	●	5	
		11 ヒライソガニ	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
		12 ヤマトオサガニ					●																	●	●	5	
その他		1 多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	21	
		2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	20	
種類数(●)			17	17	19	21	22	6	11	15	10	17	18	11	24	21	23	8	16	16	16	16	15	13	12	43	

注：1) ●：種まで同定されたもの □：種まで同定されていないもの（種数に含めない）  
 2) 種名は各分類群中で五十音順。  
 3) 地点No.25,31はいずれも2団体の調査結果を統合した。



調査シートのリスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、ユビナガホンヤドカリは23地点中20地点、マガキは19地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではイボニシ、アラレタマキビガイが17～19地点で、河口型の生物ではタカノケフサイソガニが12地点、ケフサイソガニが10地点で確認されました。なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）全てがいずれかの地点で確認されました。

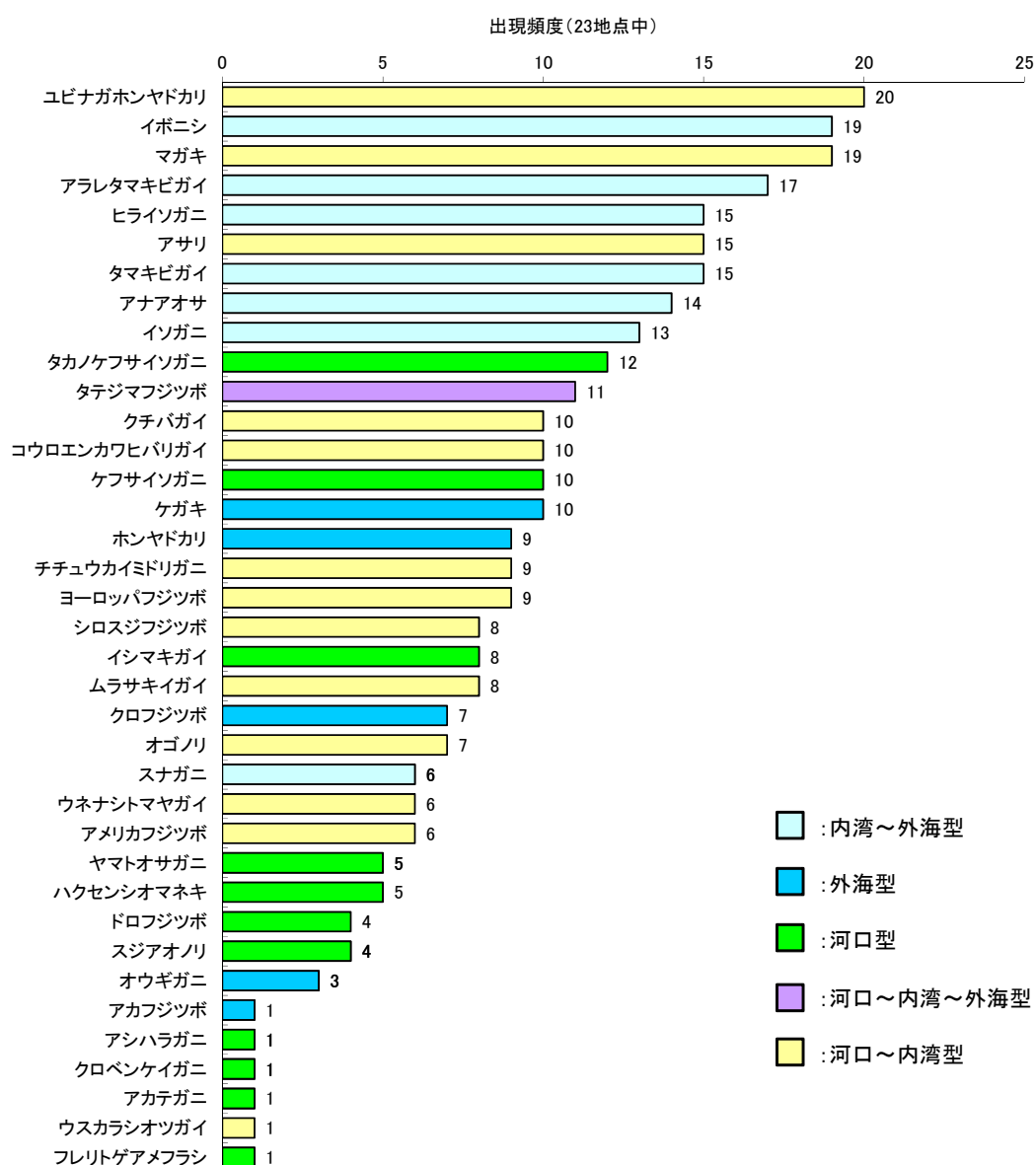
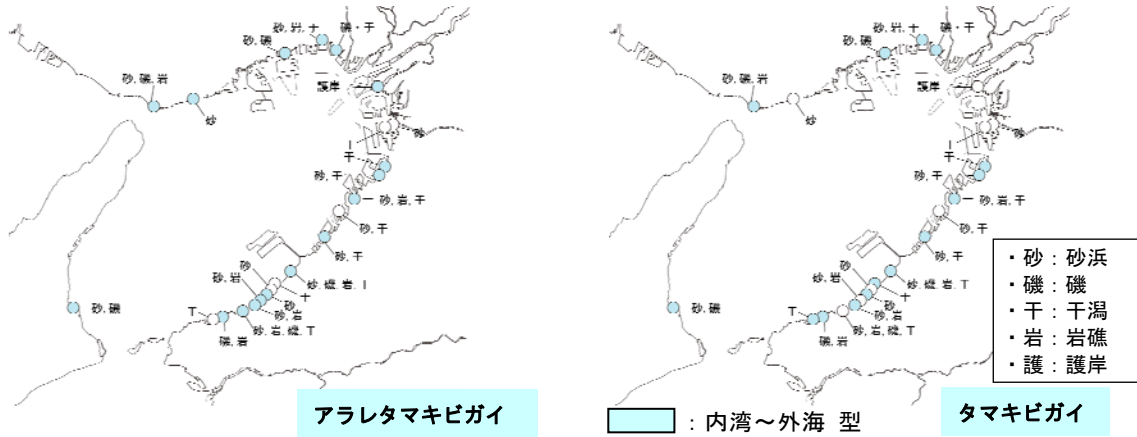


図3 調査シート掲載種の生態型と出現頻度（令和元年度）

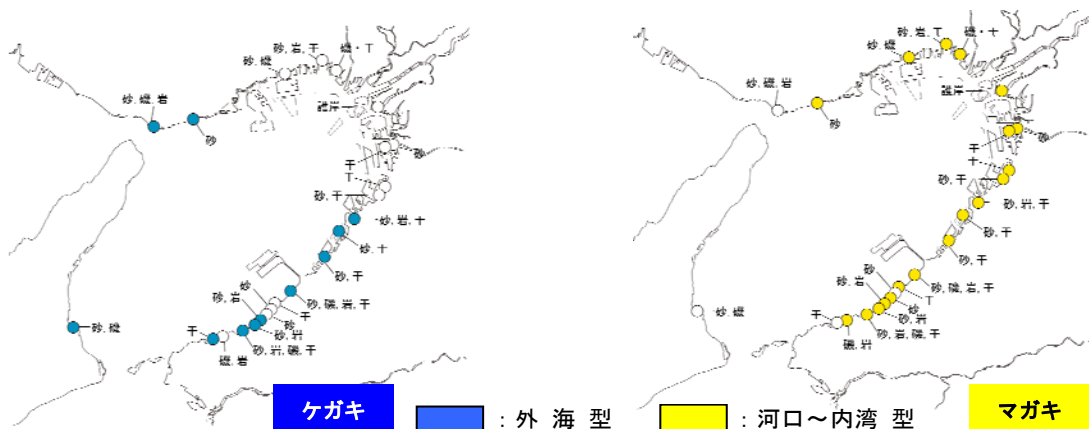
調査シートのリスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型で、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年も静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、須磨海岸～榎井川・岡田浦ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

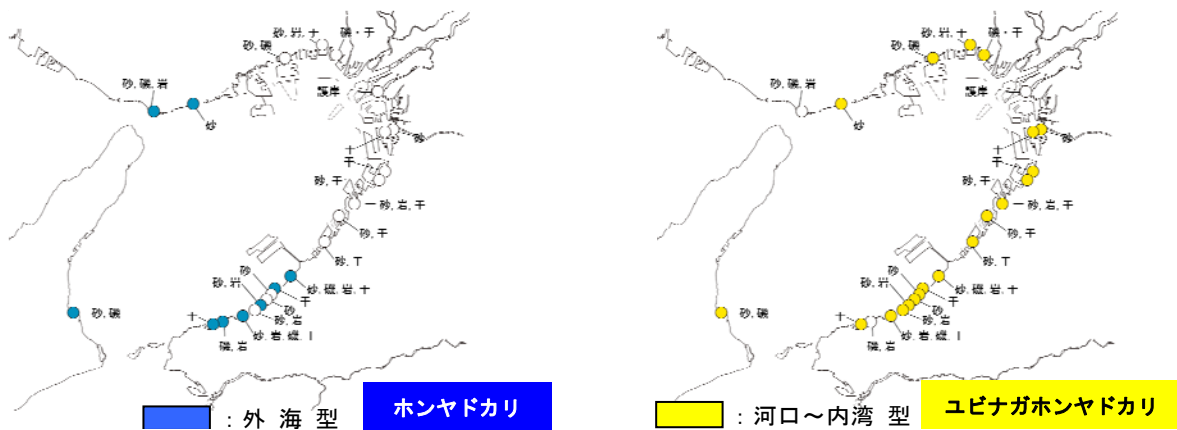
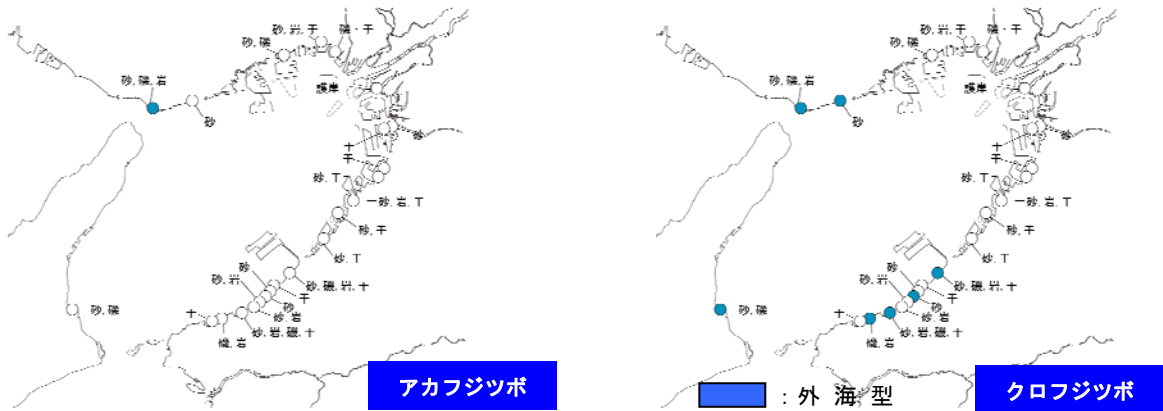


図4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—令和元年度

フジツボ類

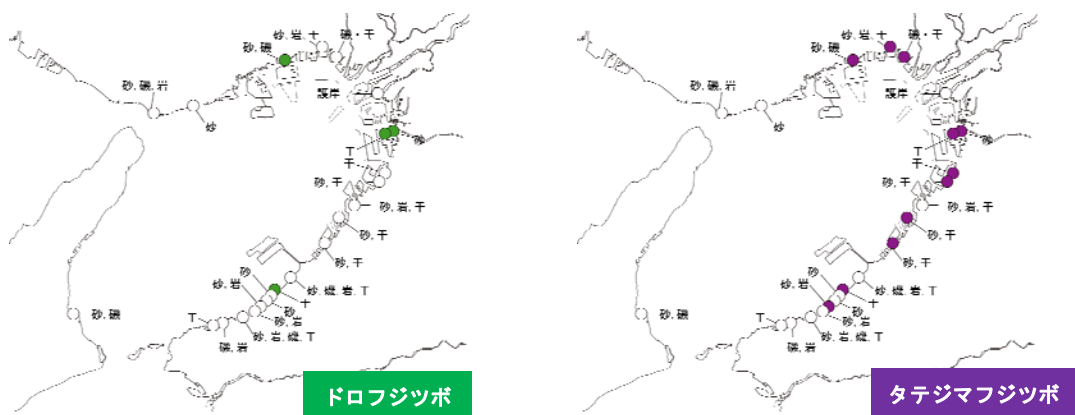
- 外海型のアカフジツボはアジュール舞子のみで、クロフジツボは須磨一樫井川・岡田浦ラインより湾口側で出現しました。



- 河口～内湾型のフジツボ類3種は湾中央～湾奥部で出現し、このうちシロスジフジツボは河口の地点で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは主に湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。



- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4(2) 代表的な種の分布(フジツボ類) —令和元年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニは、湾奥、湾中央および湾口寄りと位置の異なった地点で確認されました。湾内の地理的条件よりも、きれいな砂浜の存在が重要なようです。

砂浜に生息する

□ : 内湾～外海 型



スナガニ

- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは大津川・近木川・男里川・深日漁港干潟などの河口や泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



ヤマトオサガニ



ハクセンシオマネキ

- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。

砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



アシハラガニ



クロベンケイガニ



アカテガニ

■ : 河口型

図4(3) 代表的な種の分布(カニ類)ー令和元年度

外来種

- ミドリイガイは、昨年に引き続き確認されませんでした。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。



□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。



■ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニもほぼ同様の地点で出現しました。



■ : 河口～内湾 型

■ : 河口～内湾 型

■ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシとカニヤドリカンザシゴカイは、本年は確認されませんでした。河口～内湾型のウスカラシオツガイは甲子園浜のみで出現しました。



■ : 河口 型

■ : 河口～内湾 型

- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー令和元年度

### 3-2. 過年度との比較

調査シートのリスト掲載種について、平成 20～30 年度及び令和元年度の調査結果を併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度の調査シート掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更している場合や、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、12 カ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多く、各調査地点における安定した出現特性が分かるようになってきました。













付表1(1) 貴重種の出現状況一覧(令和元年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2018年度版RL 3)	水産庁RDB 1988年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)
海藻類	線藻類	1 スジアオリ				減少傾向		
	紅藻類	2 ホソアヤギス	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			
海藻類		1 コアマモ	(絶滅危惧Ⅰ類)				希少	
植物		1 コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類				
		2 ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類				
		3 ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類				
貝類	巻き貝	1 アカニシ				減少	危険	
		2 イシマキガイ				減少		
		3 イナザワハベガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		4 イボウミニナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類
		5 ウスコミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		6 ウミナメクジ		情報不足			危険	
		7 ウミニナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧
		8 カキウラクチキレモドキ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類			危険	
		9 カワザンショウガイ			準絶滅危惧			
		10 クチキレガイ		情報不足				
		11 クリイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		12 クロミドリガイ					危険	
		13 サツマクリイロカワザンショウ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		14 タケノコカワニナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	準絶滅危惧
		15 フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		16 ホソウミニナ		絶滅危惧Ⅰ類				
		17 マルウズラタマキガイ					危険	
		18 ミスジヨコイトカケギリ		情報不足				
		19 ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類			危険	準絶滅危惧
二枚貝	1 イワガキ					減少傾向		
	2 ウズザクラガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)					準絶滅危惧	
	3 ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧		危険		
	4 オハダログキ属		準絶滅危惧					
	5 カガミガイ		準絶滅危惧					
	6 クチバガイ			準絶滅危惧				
	7 サクラガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	8 シラトリモドキ		準絶滅危惧					
	9 ソトリガイ		準絶滅危惧			危険		
	10 ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)					準絶滅危惧	
	11 ハカガイ		準絶滅危惧					
	12 ヒメアサリ		準絶滅危惧					
	13 ヒメカノアサリ		準絶滅危惧					
	14 マネガイ	要注目	準絶滅危惧					
	15 ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	16 ユウソコガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
多毛類	1 カワゴカイ属	(準絶滅危惧)						
	2 コケゴカイ	(準絶滅危惧)						
	3 スナイソコカイ	要調査						
	4 タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	5 ムギワラムシ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	絶滅危惧Ⅱ類	
ヨコエビ・ワレカラ類	1 ウエドクロダムシ		情報不足					
	2 ヒゲナゴヨコエビ属		情報不足					
ヤドカリ類	1 テナガツヤドカリ			情報不足			準絶滅危惧	
	2 ヤドリカニダマシ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類	
	3 ヨモギホンヤドカリ			準絶滅危惧			準絶滅危惧	
カニ類	1 アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	2 アシハラガニ	(準絶滅危惧)						
	3 カネコブシ		準絶滅危惧					
	4 キンセンガニ		準絶滅危惧					
	5 クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)						
	6 コメツキガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	7 シオマネキ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	8 スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
	9 スネナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧	
	10 ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	
	11 ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	12 ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	13 フジテガニ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	14 フタバカクガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	15 マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	16 モクスガニ				減少傾向			
	17 ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)						
18 ユビアカベンケイガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧		
魚類	1 アユ		準絶滅危惧					
	2 トサカギンボ	要調査						
	3 ニホンウナギ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類				

付表1(2) 貴重種の出現状況一覧(令和元年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2018年度版R1 3)	水産庁RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
その他	イソギンチャク類	1	イシワケイソギンチャク		情報不足				
	頭足類	2	ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類	減少			
	ホシムシ類	3	スジホシムシ	要調査		準絶滅危惧		普通/希少	準絶滅危惧
		4	スジホシムシモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		普通/希少	準絶滅危惧
	エビ類	5	エビジャコ属	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		6	クルマエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		7	テッポウエビ	(準絶滅危惧)					
	アナジャコ類	8	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類				
		9	ハサミシャコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		10	ハルマンスナモグリ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類				
	ウニ類	11	アカウニ				減少傾向		
		12	ハス/ハカシバン	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				
	ナマコ類	13	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			危険	
	ナメクジウオ類	14	ヒガシナメクジウオ	(絶滅危惧Ⅱ類)		絶滅危惧Ⅱ類	危急 (ナメクジウオとして)	危険 (ナメクジウオとして)	準絶滅危惧

注)

1) 兵庫県版 レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群落)、兵庫県版レッドデータブック2017(魚類)  
( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリに置換したもの。

2) 大阪府 レッドリスト2014

3) 環境省 レッドリスト(2019)、海洋生物レッドリスト(2017)

4) 水産庁.1998:日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.  
評価「普通」は省略した。

5) WWF Japan Science Reprot vol.3,1996.

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック-. 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.

7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

8) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧Ⅰ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧Ⅱ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足:評価するための情報が不足している種。

地域個体群:地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫):環境省レッドデータブックの情報不足に相当。兵庫県において評価するに足るデータがない種。

要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁):明らかに減少しているもの。

希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF):絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF):特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

9) 表中網掛けは、評価指定後、今年度初確認の貴重種を示す。

10) 貴重種記載資料の該当府県の場所では出現していない場合もある。

#### 4. 調査テーマ「ヒライソガニとケアシヒライソガニ（仮称）」の結果

今年度の調査ではヒライソガニとケアシヒライソガニ（仮称）の出現状況に注目しました。

調査地点23地点のうち、内湾～外海型のヒライソガニは東岸湾奥を除く湾口～湾奥の15地点で、河口～内湾型のケアシヒライソガニは湾口～湾奥の河口、礫干潟の5地点で確認されました。この5地点ではヒライソガニも同時に確認されました。

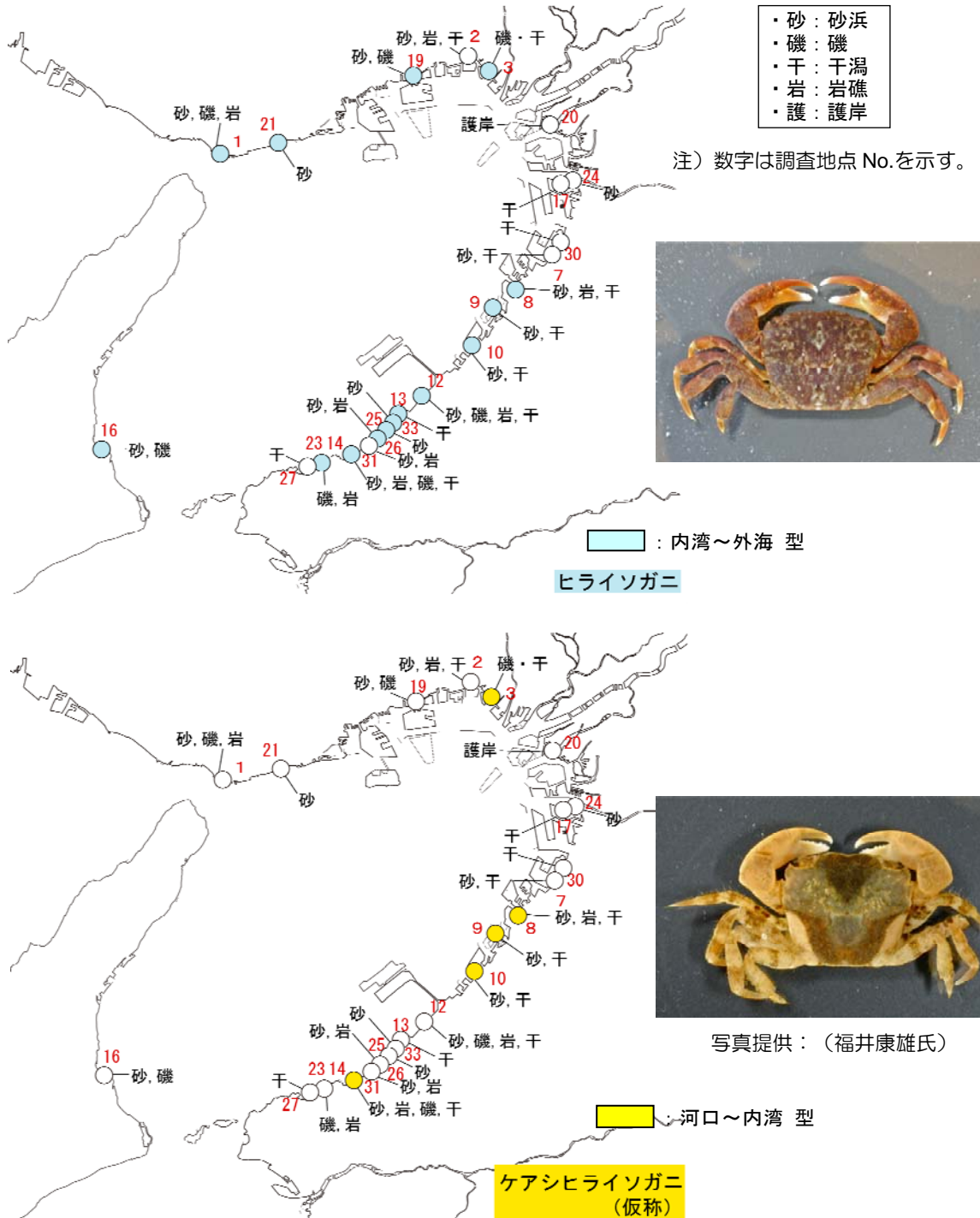


図5 ヒライソガニとケアシヒライソガニの出現状況（令和元年度）

## 5. スナメリ調査

5月15日と25日に図6に示す経路で調査を実施しました。

5月15日の調査では阪南市沖で4群6頭を確認しました。

5月25日の調査では阪南市沖で5群10頭を確認しました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする  
ことがなくなりました。

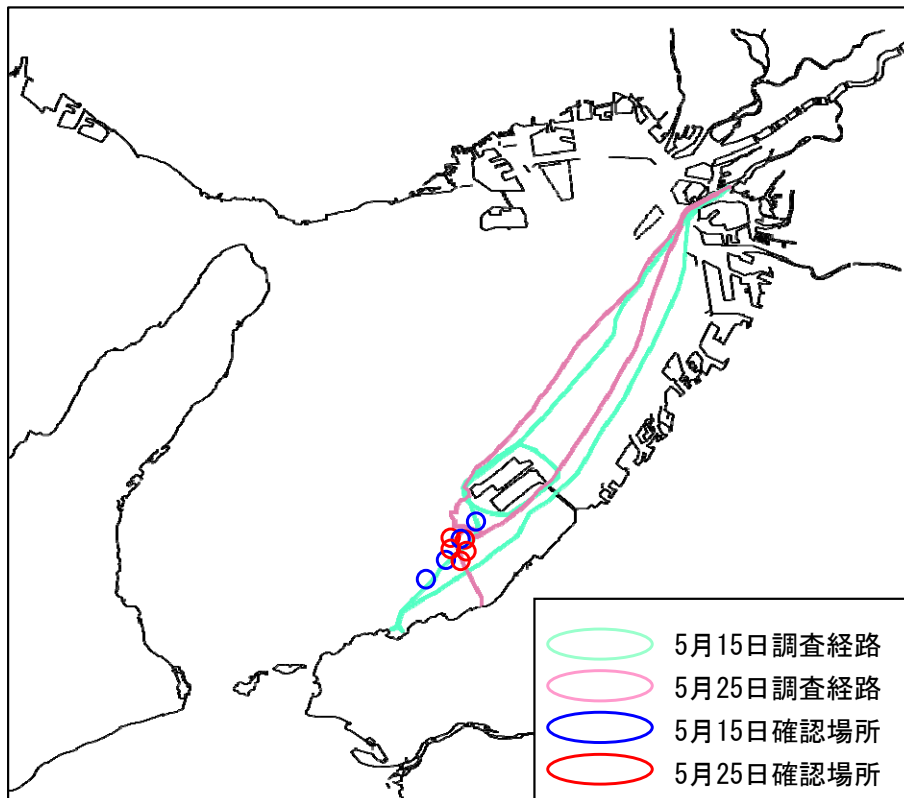


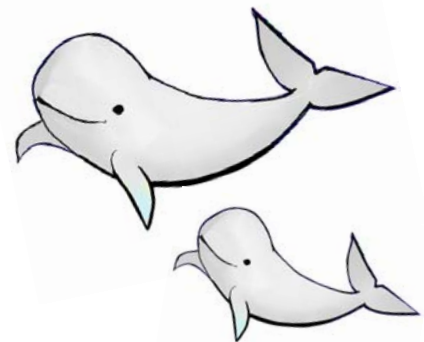
図6 スナメリ調査の経路と確認状況

### 【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ